



福祉・教育・暮らしの願い届ける — 4省へ政府交渉

8月21日、日本共産党県委員会、同県地方議員団は、文部科学省、総務省、国土交通省、厚生労働省の4省に対して、15項目にわたる要望をし、清水忠史衆院議員、山下芳生参院議員、穀田恵二衆院議員が同席しました。節木三千代県議は、県民の切実な声を届け、実現を迫りました。



要望するふしき県議

障害者の「暮らしの場」確保のための予算を

特別支援学校（養護学校）卒業後の重度障害者の「行き場」がない問題で交渉。「暮らしの場」を求めている人が、全県で608人、県外で158人が暮している現状を報道した滋賀民報の報道に、厚生労働省担当課は、衝撃をうけたと発言。各都道府県の計画にもとづいて、必要な予算を要求しているとしましたが、ふしき県議は、国の予算は、県の要求に対して8割にとどまっていると指摘。「グループホーム整備の予算を大幅に増やすべき。整備補助の上限を引き上げるべき」と迫りました。

幼い命を守れ 交通安全対策を早急に

散歩中の園児の交通死亡事故をうけて、早期に危険個所の点検・安全対策や、交通安全対策の基準を求めました。国土交通省の担当課は、現在9月末までに全国の保育園・幼稚園の緊急安全点検と対策をとりまとめるとし、予算確保に努めるとともに、よりよい基準を検討すると答えました。

河川整備の予算をふやせ—大戸川ダムは中止を

8月27日、清水衆院議員とともに、大戸川ダム予定場所、河川整備状況について県の担当者から説明を受けました。

交渉ではダムに頼らない治水政策で住民の命を守ることを最優先に取り組み、大戸川ダム建設はキツパリと中止すること、河川の浚渫・雑木林の除去など維持管理、整備・改修に対する国庫負担の増額を求めました。

そのほか、「第8次看護職員需給見通し」の策定は、看護師の厳しい勤務実態や、勤務環境を十分勘案したものにする事や、国民健康保険料は、子ども1人当たり平均3万円保険料に上乘せされる均等割をなくすこと、国費1兆円の投入で、保険料の引き下げを求めました。



大戸川について説明を受ける清水忠史衆院議員、ふしき県議ら

9月議会のお知らせ

9月18日（水）開会です。

※ 請願の締切は9月26日 正午です。
ぜひご意見、ご要望をお寄せください。

ダムの放流で破堤 — 西日本豪雨 岡山県倉敷市真備町視察

8月21日、黄野瀬明子県議とともに、昨年7月、豪雨により堤防が決壊、51名もの犠牲者を出した岡山県倉敷市真備町地区の復興状況を視察しました。今回、高梁川流域で8か所の堤防が決壊した原因として、小田川と合流する高梁川上流の中国電力新成羽川ダムが事前放流をせずに、豪雨になってから膨大な量の放流をおこなったことが水位上昇を招いたと指摘されています。

2階にあがれない高齢者や、平屋の市営住宅にお住いの方が多く犠牲になっておられました。日本共産党須増伸子県議のご実家も洪水が押し寄せ、家族が屋根の上で災害ボートの救助を一晩待っておられたとお聞きし、改めて恐ろしさを目の当たりにしました。

いま、滋賀県では大戸川ダムは治水効果があるとして、早期整備を国に求めています。「ダムがあるなら安全」という安全神話が滋賀では喧伝されています。想定を超える大雨にみまわれる近年。命を守るための流域治水対策を真剣に議論すべきと感じています。

(ふしき)



須増県議から説明を受けるふしき県議

生活相談会をおこなっています。

毎月 第1.3月曜日 午後3~5時まで

場所：ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2019年9月3日 発行：ふしきみちよ事務所
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334
メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索